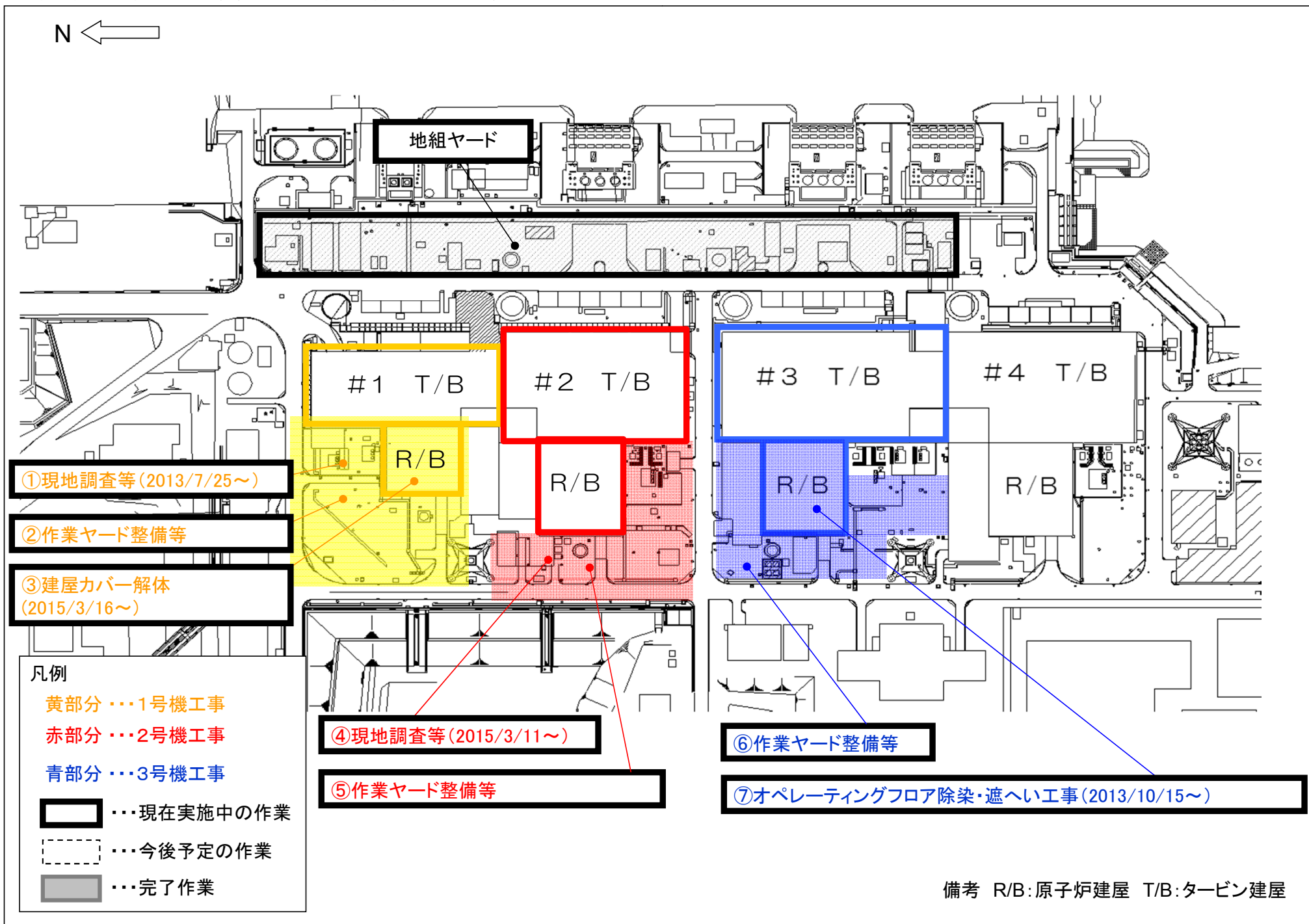


使用済燃料プール対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	2月		3月					4月			5月	6月	備考			
				21	28	6	13	20	27	3	10	17	下	上	中		下	期	後
キャスク製造	構内用輸送容器の製造	(実績) ・構内用輸送容器製造中 (予定) ・構内用輸送容器製造中	調達・移送	構内用輸送容器の製造 (2017年下期頃完成予定)															
	輸送貯蔵兼用キャスク・乾式貯蔵キャスクの製造	(実績) ・乾式キャスク製造中 (予定) ・乾式キャスク製造中	調達・移送	29基目 (2016年11月頃完成予定)															
				30基目 (2016年12月頃完成予定)															
				31基目 (2017年1月頃完成予定)															
				32基目 (2017年3月頃完成予定)															
				33基目 (2017年4月頃完成予定)															
				34基目 (2017年5月頃完成予定)															
				35基目 (2017年6月頃完成予定)															
				36基目 (2017年7月頃完成予定)															
37基目 (2017年8月頃完成予定)																			
共用プール	共用プール燃料取り出し 既設乾式貯蔵キャスク点検	(実績) (予定)	検討・設計 現場作業																
乾式キャスク 保管設備	乾式キャスク保管設備の設置	(実績) (予定)	検討・設計 現場作業																
研究開発	使用済燃料プールから取り出した 燃料集合体の長期健全性評価	(実績) ・長期健全性評価に係る基礎試験 ・燃料集合体の長期健全性評価技術開発 (予定) ・長期健全性評価に係る基礎試験 ・燃料集合体の長期健全性評価技術開発	検討・設計	【燃料集合体の長期健全性評価技術開発】 (湿式保管評価)															
				(乾式保管評価) 乾式保管時の燃料健全性確認試験															
				未照射材/照射材試験片加工															
				【長期健全性評価に係る基礎試験】 移行挙動試験															
				評価															
現場作業																			
燃料部材輸送																			

1, 2, 3号機 原子炉建屋上部瓦礫撤去工事 燃料取り出し用カバー工事 他 作業エリア配置図



福島第一原子力発電所1号機 建屋カバー解体工事の進捗状況について

2016年3月31日
東京電力株式会社



東京電力

1号機建屋カバー解体工事の進捗状況について

- 1号機建屋カバー解体工事は、2月4日より、散水設備（散水ノズルまでの配管設置等）工事を開始し、工事実施中
- その間、作業に伴うダストモニタ・モニタリングポストに有意な変動、警報発報なし



飛散防止剤散布の作業状況写真



【作業中】

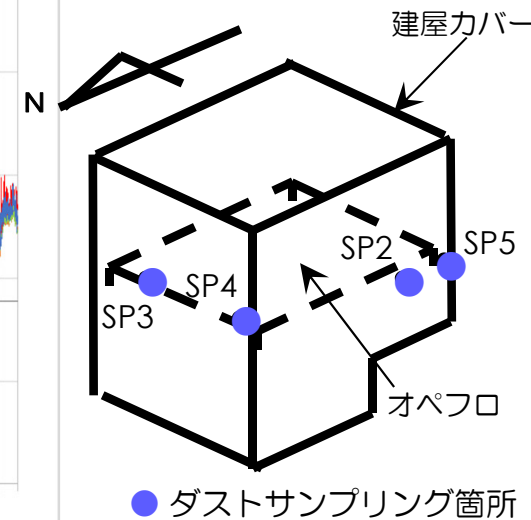
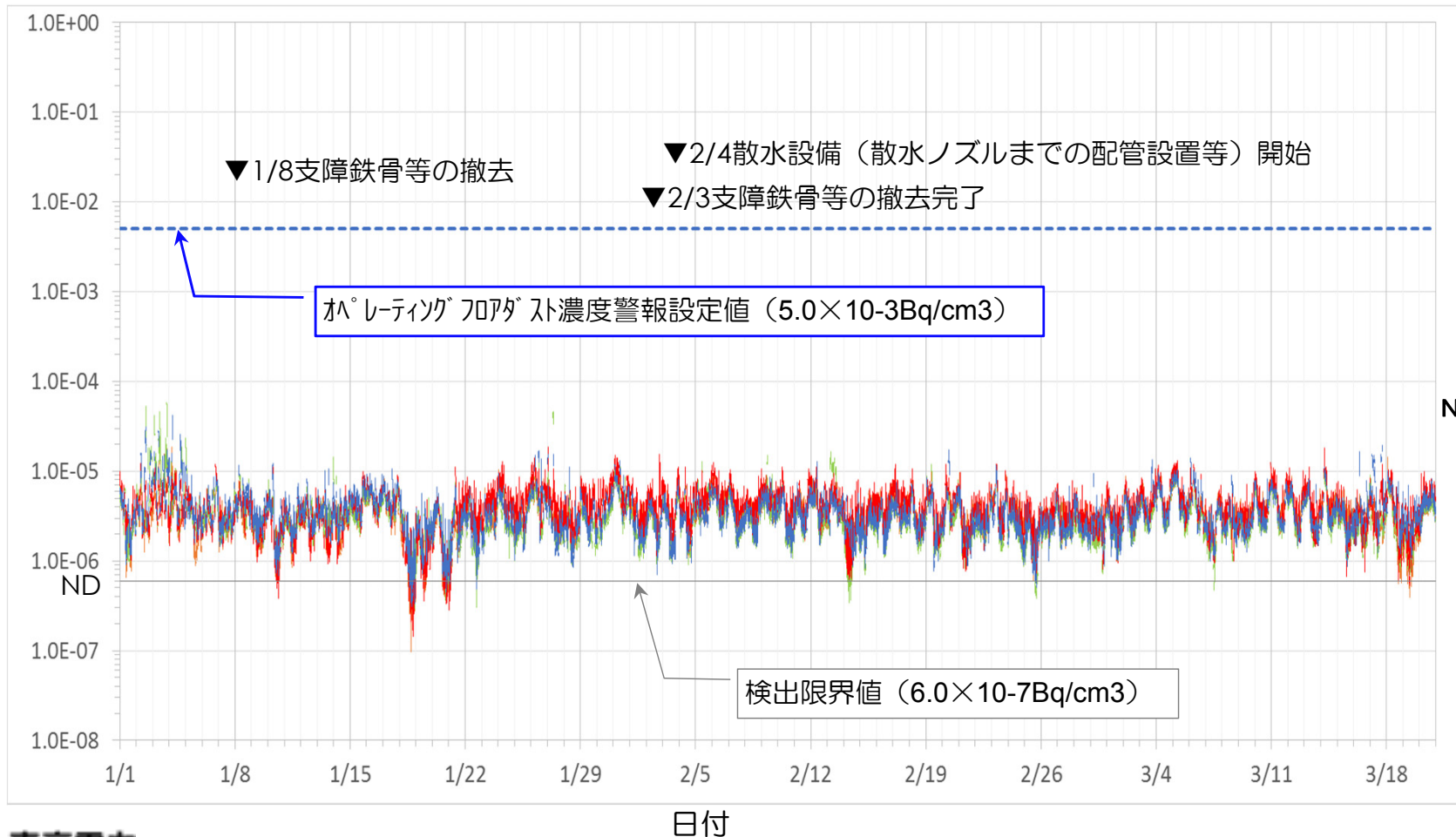
散水ノズルまでの配管設置等の作業状況写真
(敷鉄板整備)

1号機建屋カバー解体工事の作業状況写真

オペレーティングフロアの空气中的放射性物質濃度について

- オペレーティングフロアの各測定箇所における、2016年1月1日～2016年3月20日までの「空气中的放射性物質濃度」を以下のグラフに示す
- 各作業における空气中的放射性物質濃度
 - オペレーティングフロアダスト濃度警報設定値* ($5.0 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$) に比べ低い値で推移した

* 敷地境界モニタリングポスト近傍のダストモニタ警報値より設定した公衆被ばくに影響を与えないように設定した値



[トピックス]

福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋オペレーティングフロア
ガレキ状況の先行調査の実施について

1. 先行調査の背景・目的

■ 背景

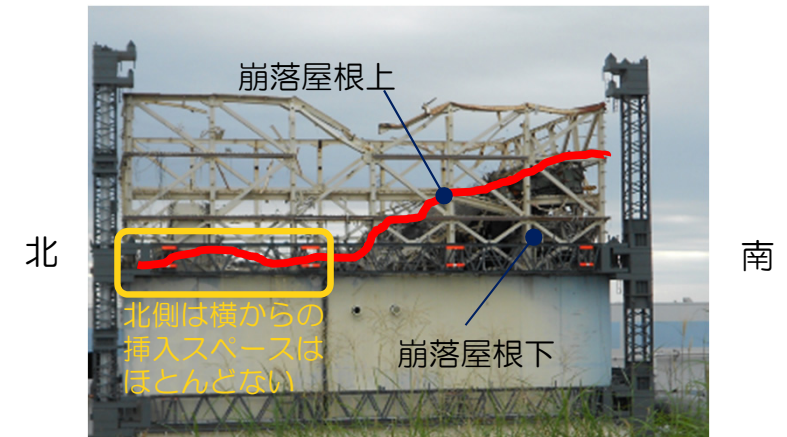
- ガレキ撤去計画の策定に向け、崩落屋根下ガレキの状況を把握することが必要
- これまでは、ガレキ側面からポールカメラ（水平差し込みカメラ）を挿入して崩落屋根下の状況を確認
- 北側は、ポールカメラを挿入できるスペースがほとんどないため、崩落屋根下のガレキ状況が確認できていない

■ 目的

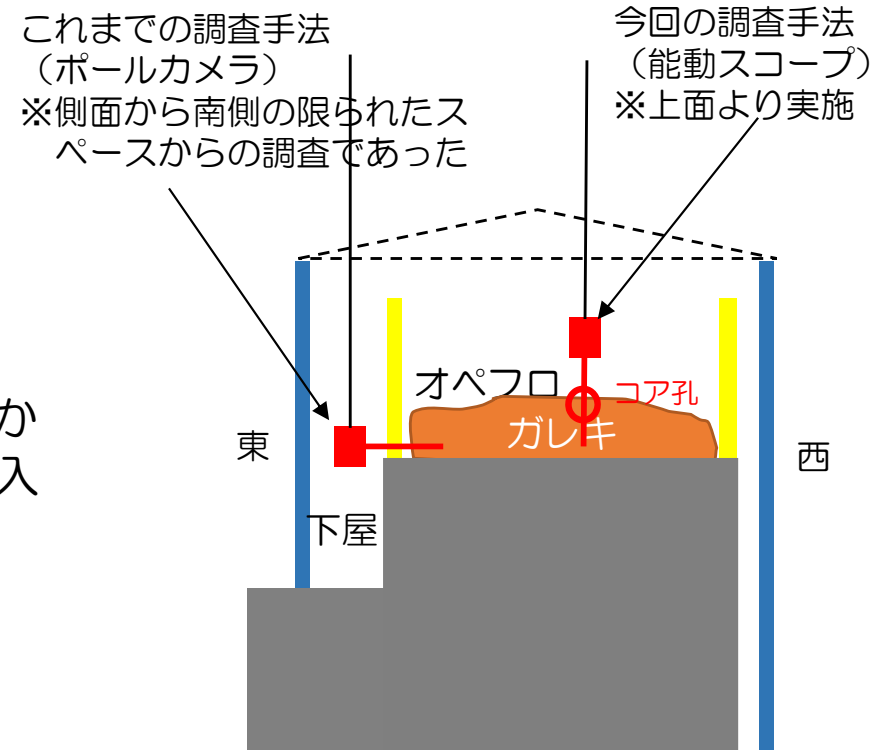
- 崩落屋根下のガレキ状況調査のために準備した、調査手法・調査装置を適用してガレキの先行調査を実施する
- 先行調査結果に基づき、今後の崩落屋根下のガレキ調査計画を立案する

■ 今回の調査手法・調査装置

崩落屋根上の割れ目、若しくはコアカッターにて削孔した孔から能動スコープカメラ（首振り多関節カメラ）を上から挿入して崩落屋根下を調査する

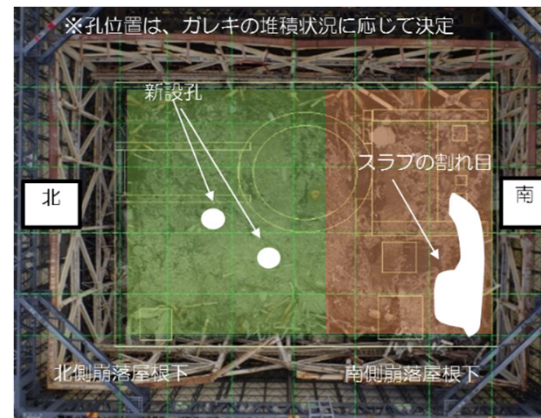


建屋カバー建設中の状況写真(2011年)

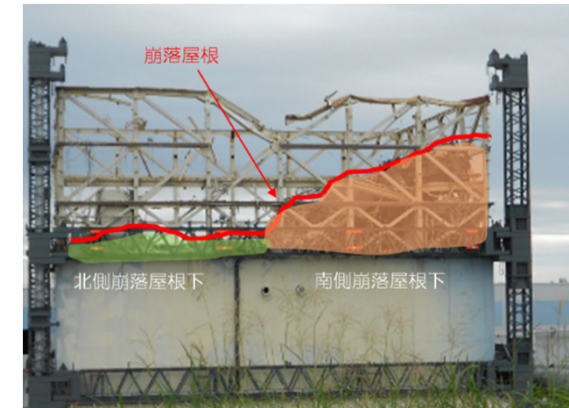


2. 先行調査の手順

- 北側崩落屋根下の先行調査位置
 - 2m×2m程度の範囲の小ガレキを吸引した後、防水層を除去する
 - 崩落屋根コンクリート部に直径200mm程度の孔（2ヶ所程度）を明け、能動スコープカメラを挿入し、ガレキ状況を調査
- 南側崩落屋根下の先行調査位置
 - 崩落屋根スラブの割れ目に能動スコープカメラを挿入し、ガレキ状況を調査
- 先行調査の手順

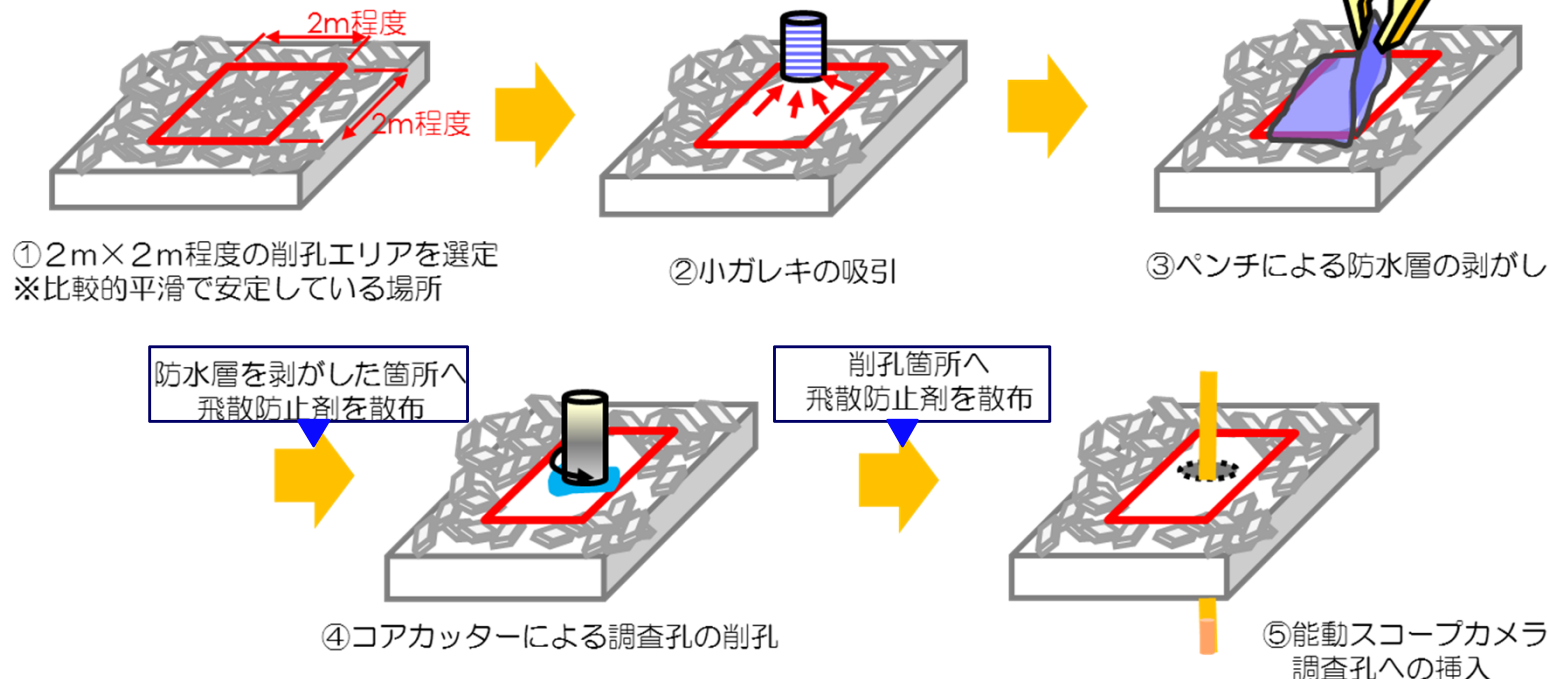


調査位置平面図



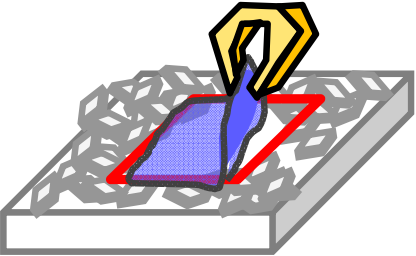

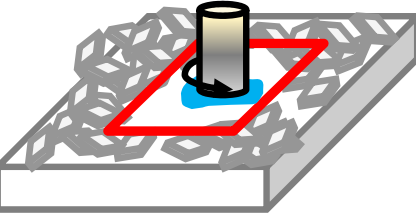

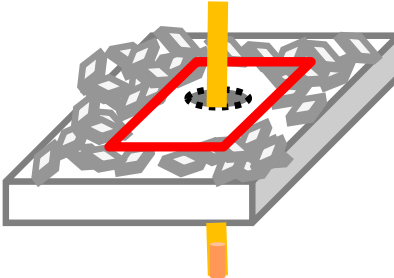
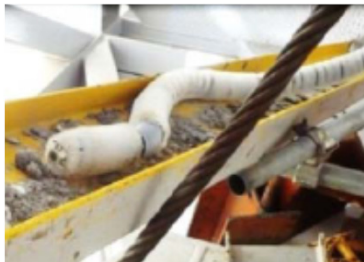
建屋カバー建設中の状況写真(2011年)

調査位置断面図



3.各装置の確認項目

■各装置の先行調査で確認する項目は以下の通り

項目	確認事項	装置写真
 <p>ペンチによる防水層の撤去</p>	<ul style="list-style-type: none"> • スラブと防水層の固着状態の確認 • ペンチにより防水層が剥がせるかを確認 • 作業時間の確認 	
 <p>湿式のコアカッターによる削孔</p>	<ul style="list-style-type: none"> • スラブの損傷具合による削孔可否の確認 • 作業時間の確認 	
 <p>能動スコープカメラを挿入・ガレキ状況の調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 崩落屋根下での視認範囲の確認 • カメラの揺れによる視認性の確認 • 作業時間の確認 	

4.先行調査時の飛散抑制対策

- 先行調査は、壁パネルがある状況で、下表の飛散抑制対策を講じ進める

項目	飛散抑制対策
監視	オペレーティングフロアに設置された4箇所のダストモニタで常時監視する (作業管理値： 1.0×10^{-3} (Bq/cm ³))
小ガレキの吸引	崩落屋根上のルーフブロックやコンクリート片等を事前に吸引する
飛散防止剤散布	防水層を剥がした後に、飛散防止剤を散布しダストを固着させる 調査孔を削孔した後に、飛散防止剤を散布しダストを固着させる
調査孔の削孔	湿式のコアカッターで、作業用カメラで監視しながら慎重に進める
緊急時	ダストモニタ・モニタリングポストの警報発報時は、予め策定した手順に則り飛散防止剤散布または散水する

5.スケジュール

- 先行調査スケジュールは以下のとおり
- 結果に基づいて、今後の崩落屋根下のガレキ調査計画を立案していく

	2016年					
	3月		4月		5月	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半
建屋カバー解体工事						

散水設備設置（散水ノズルまでの配管設置等）

散水設備設置（散水ノズルユニット設置）

先行調査

福島第一原子力発電所
3号機原子炉建屋オペレーティングフロアの
線量低減状況について

2016年3月31日

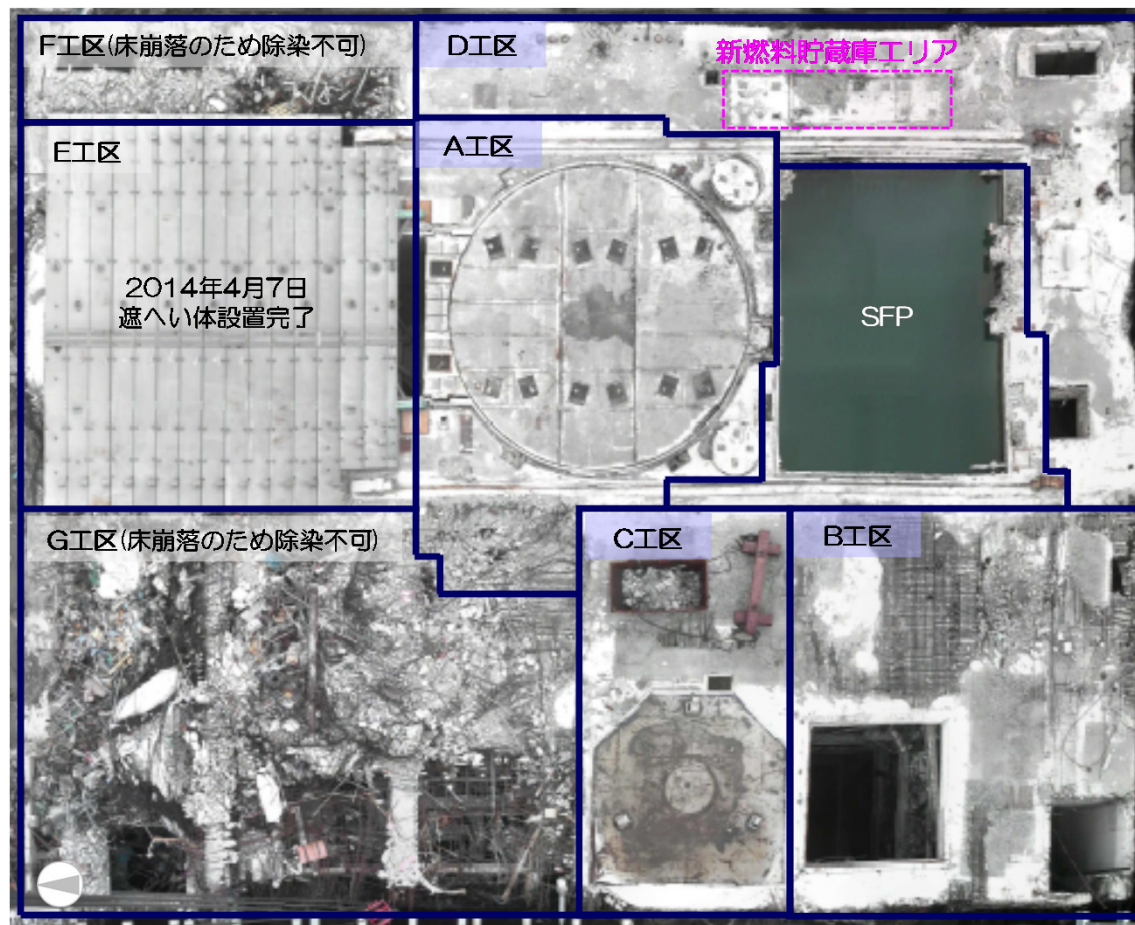
東京電力株式会社



東京電力

オペフロ除染の進捗

- 主に燃料取り出し専用カバー・燃料取扱機等設置において、オペフロ有人作業を要するエリアの線量低減を目的にオペフロ除染、および、オペフロへの遮へい体設置からなる線量低減策を実施してきた。
- オペフロ除染は新燃料貯蔵庫エリア(蓋の撤去を計画)を除き2016年3月7日までに作業が完了した。
- 2015年10月に実施したγスペクトル測定においてもオペフロ上の線源は、散乱線の大きくなるような領域(表面ではない場所)に線源があると推定されることから、今後は除染よりも遮へいに移行する段階にあることを確認。



3号機オペフロ線量低減工区 (合成写真 撮影日:2016.2.20)

3号機オペフロ除染・遮へい体設置の概要

■ 線量率測定および評価

- 現在、ABC工区除染完了後に線量率測定を実施して有人作業エリアの線量率※を評価中。D工区除染完了後も同様に線量率測定を実施して同様に評価する。
※線量低減策完了後（除染および遮へい体設置完了後）の線量率をシミュレートして評価する。
- その他にγ線カメラ撮影、および、個人線量計による6方位線量測定(P10参照)を実施する。

■ 遮へい体設置

- 遮へい体は、設置場所および施工に応じて、大型遮へい体・補完遮へい体・構台間遮へい体の3種類(P11参照)に分類される。
- 設置手順については、大型遮へい体をA→BC→G→D→Fの工区順で設置して全工区完了後、その他の遮へい体を設置する予定である。
- 設置方法については、補完遮へい体・構台間遮へい体の設置作業の一部でオペフロ上の有人作業があるものの、ほとんどの作業はクレーンを遠隔操作して行われる。

(詳細工程・手順、遮へい体設置後の線量率確認を目的とした測定の方法は検討中)

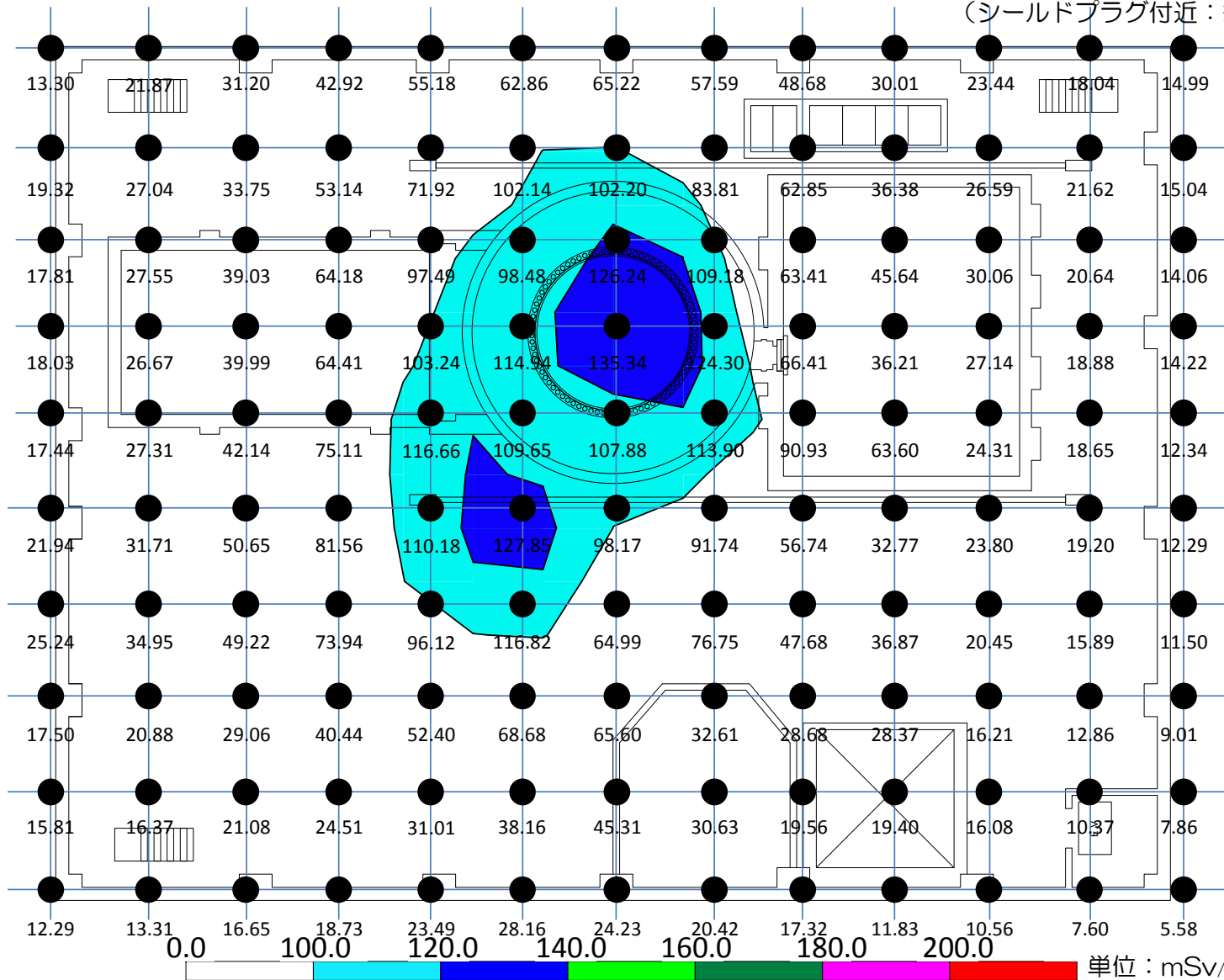
年度	2015	2016	
	下期	上期	下期
■ 除染	[Blue bar spanning 2015 Lower and 2016 Upper]		
■ 遮へい体設置		[Pink bar spanning 2016 Upper and 2016 Lower]	
■ 線量率測定 ■ 作業エリア線量率評価		[Yellow and Green squares]	[Yellow and Green squares]
γ線カメラ撮影 および 6方位線量測定 ■ 評価		[Yellow and Green squares]	

線量率測定結果

- 2016年3月8日～11日の期間に実施した線量率測定結果（以下、今回の測定結果）を過去の測定結果（以下、過去の測定結果）と併せて次頁以降に示す。
- 過去の測定結果とは2013年11月から2015年1月の期間に除染進捗とともに測定したものである。
- コンター図の線量率レンジ(mSv/h)は今回の測定結果、過去の測定結果ともに同一である。

FL+5.0m線量率 (今回の測定結果)

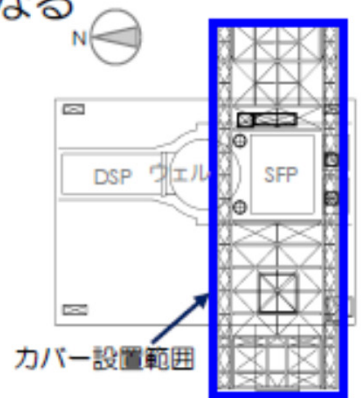
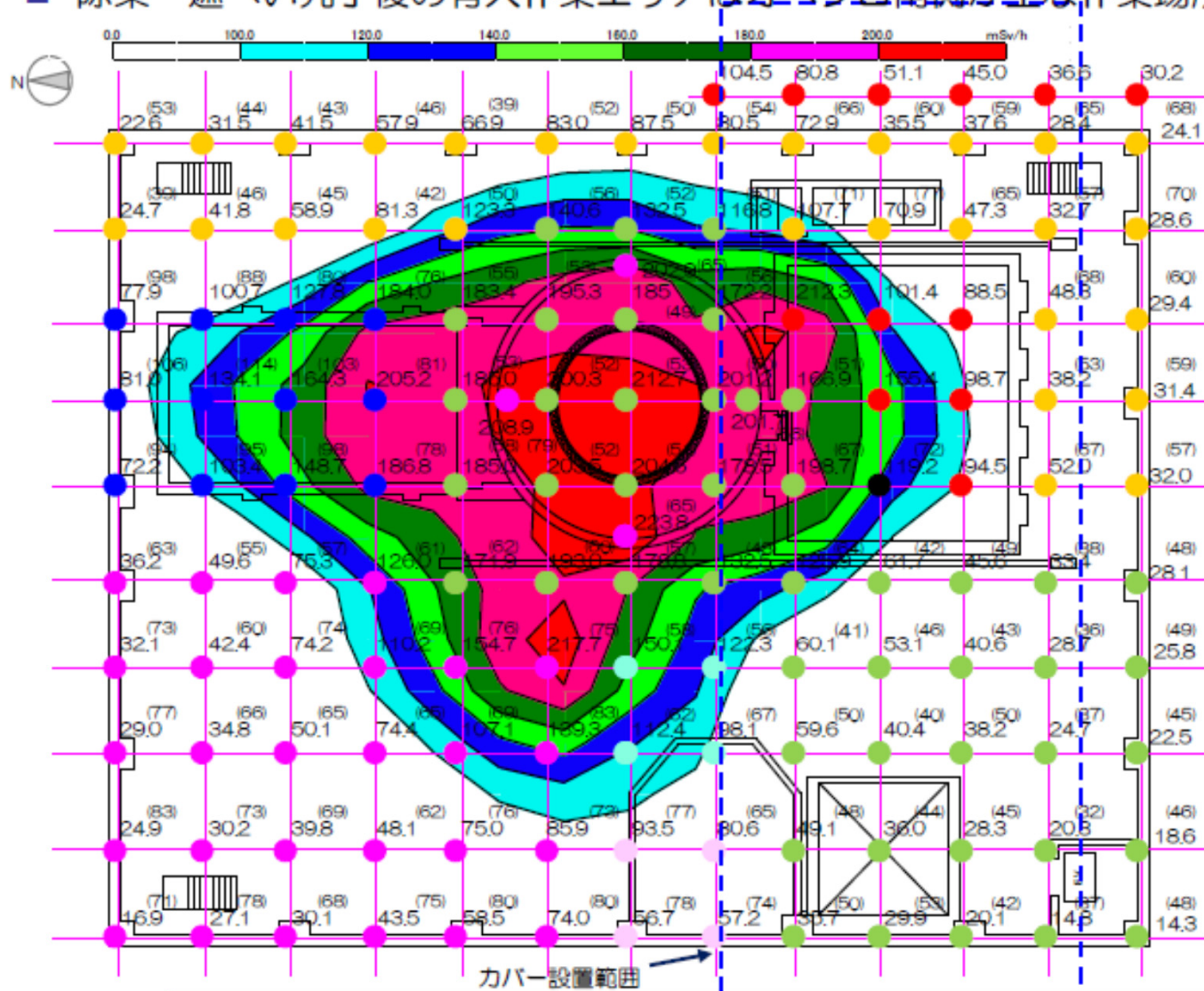
- ABC工区除染完了後に実施したFL+5.0m高さでの空間線量率測定結果を示す (測定日：H28/3/8~11)
(シールドプラグ付近：約136mSv/h)



FL+5.0m線量率(過去の測定結果)

H27.7.1監視・評価検討会資料より抜粋

- 現在のオペフロ+5m高さでの空間線量率は以下の通り（シールドプラグ付近：約220mSv/h）
- 除染・遮へい完了後の有人作業エリアはオペフロ南側が主な作業場所となる



燃料取り出し用カバー設置範囲

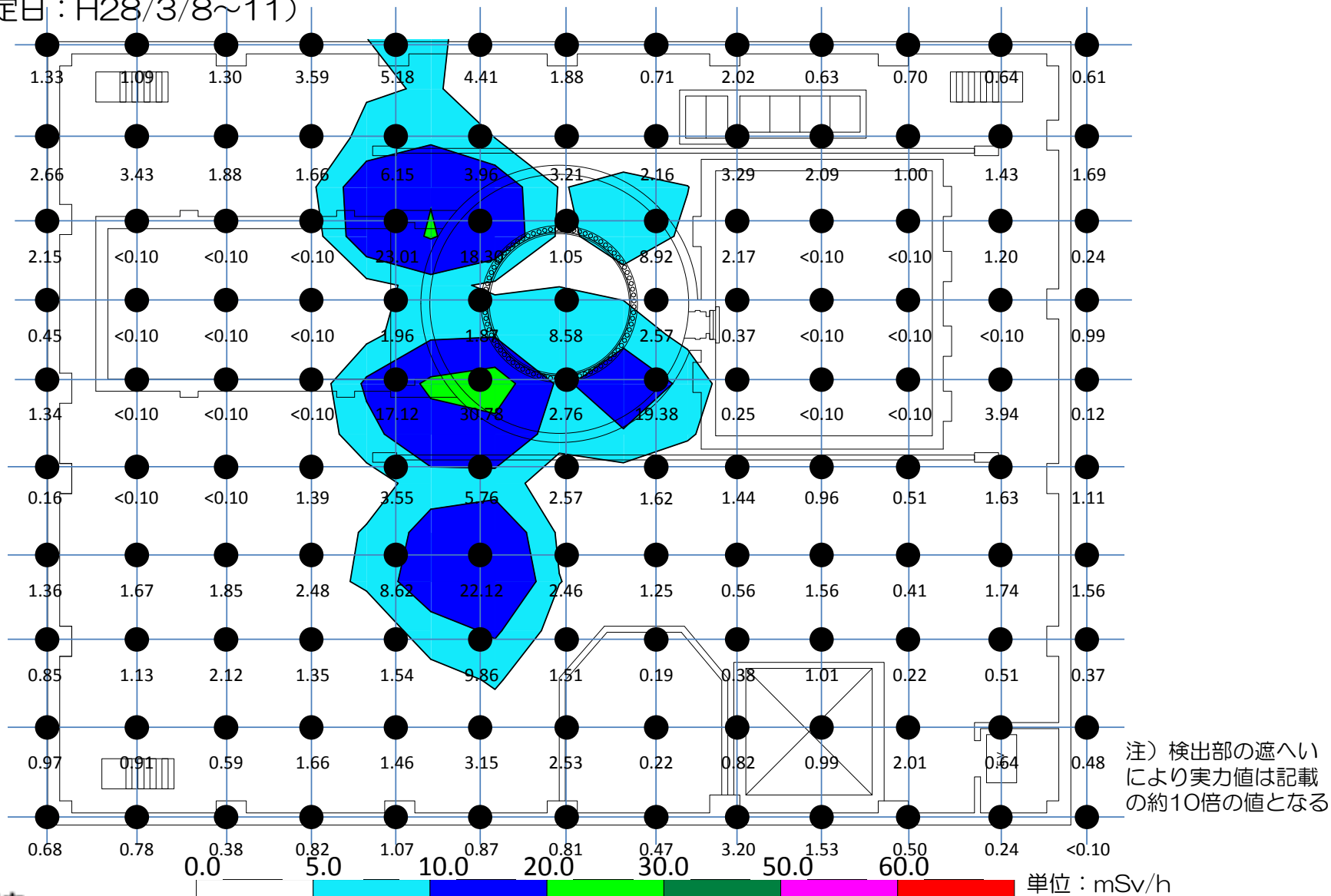
- 【線量率測定日】
- H25.11.6-7
 - H26.4.1
 - H26.5.21
 - H26.7.3-4,7
 - H26.8.2.5
 - H26.11.1.3
 - H26.11.2.2
 - H27.1.8

数字 : 中間計測空間線量率
@5m (mSv/h)
○内: 中間計測空間線量率/
H25.11.6.7の空間線量率との
比較 (%)

※除染作業の進捗に伴い部分的に測定した最新データをもとに作成

FL+0.5m線量率(今回の測定結果)

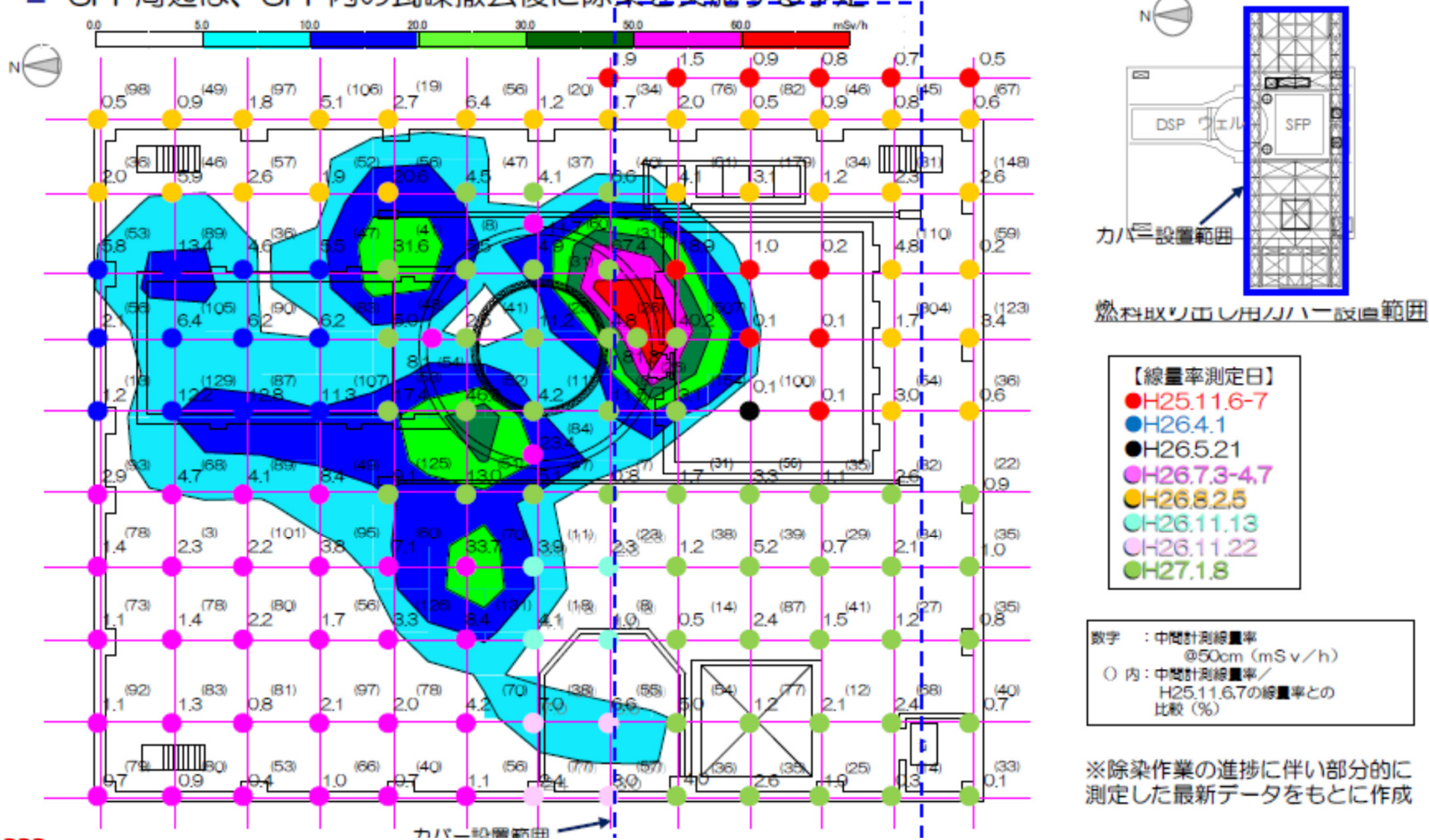
- ABC工区除染完了後に実施したFL+0.5m高さでのコリメート付き線量測定装置による測定結果を示す
(測定日：H28/3/8~11)



FL+0.5m線量率(過去の測定結果)

H27.7.1監視・評価検討会資料より抜粋

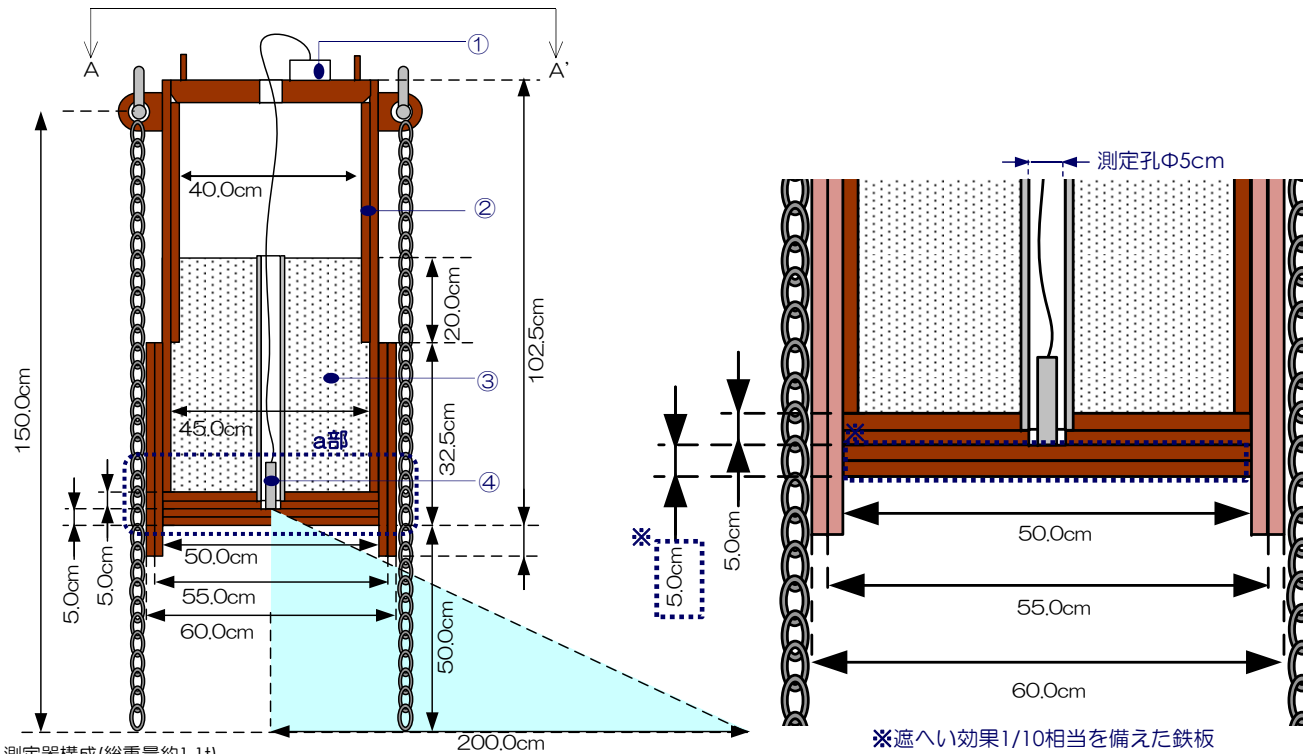
- 現在のオペフロ+50cm高さでのコリメート付き線量測定装置による測定値は以下の通り
- SFP周辺は、SFP内の瓦礫撤去後に除染を実施する予定



参 考 资 料

【参考】線量率測定方法

- 測定器構成
 コリメータ容器に無線式線量計（有効測定範囲0.1～1,000mSv/h）を格納する。尚FL+5.0m位置の空間線量率も併せて測定する。
- 遮へい効果
 高線量箇所の測定においては、無線式線量計の有効測定範囲を逸脱する可能性がある。そのため、コリメータ容器底面部の鉄板(厚5cm)に遮へい効果1/10相当を備えて、無線式線量計の測定値を有効測定範囲内に減衰させる。



測定器構成(総重量約1.1t)

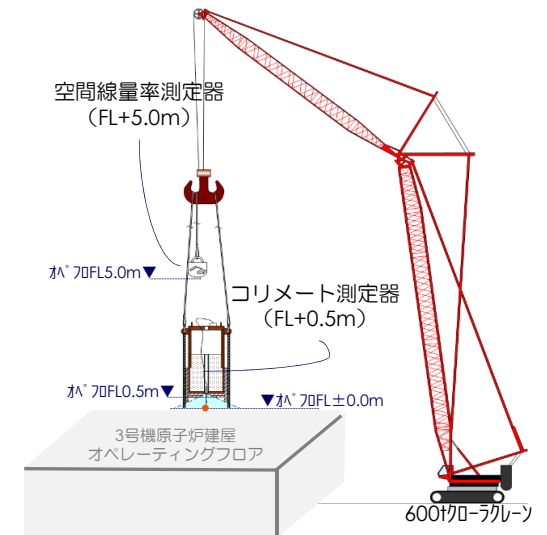
①電源・送信機箱 ②コリメータ容器(鋼製) ③コンクリート充填剤 ④無線式線量計

コリメータ測定器

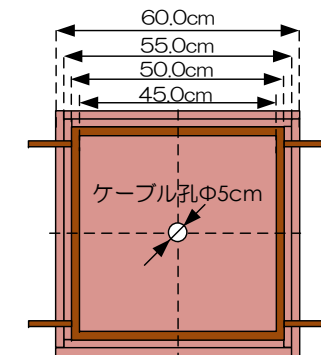


※遮へい効果1/10相当を備えた鉄板(厚5cm=厚2.5cm×2枚)

a部拡大図



測定イメージ



縦横寸法は同一

A-A' 矢視図

【参考】個人線量計による6方位線量測定方法

■ 目的

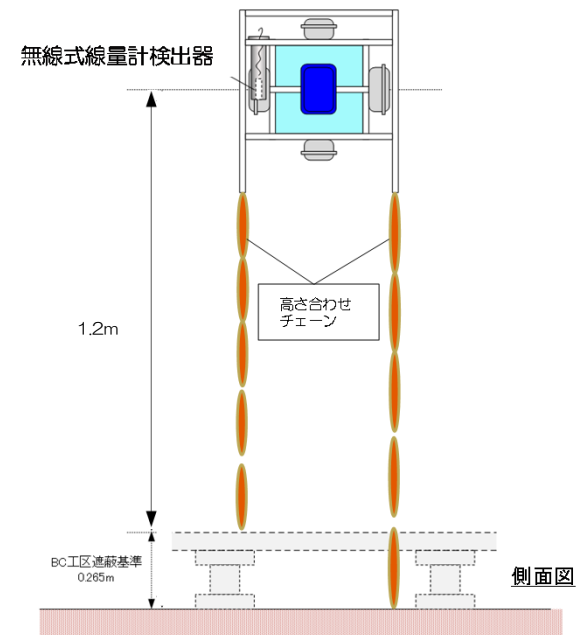
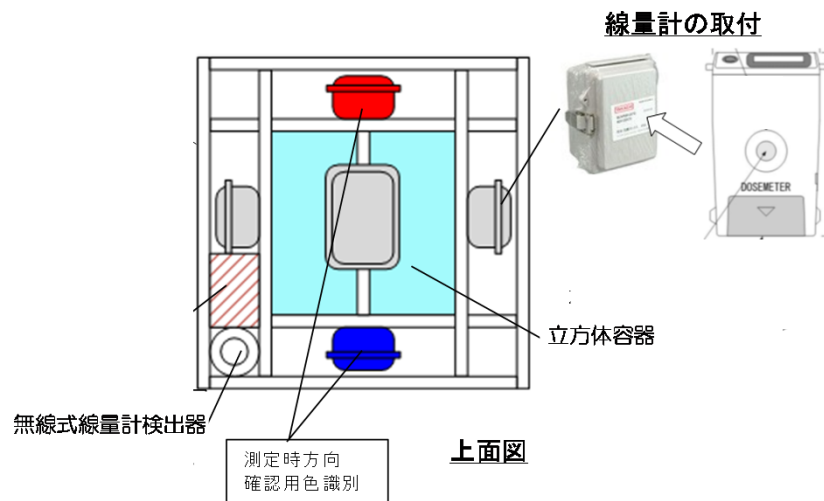
これまでコリメートした測定器による線量率測定、ガンマ線スペクトル測定により、オペフロ下面からの線量寄与を調査したが、今後は水平方向の線量についても測定し、どの方向からの線量寄与が高いかを確認した上で、有人作業時に使用する仮設遮へい体（衝立遮へい等）を計画する。

■ 測定方法

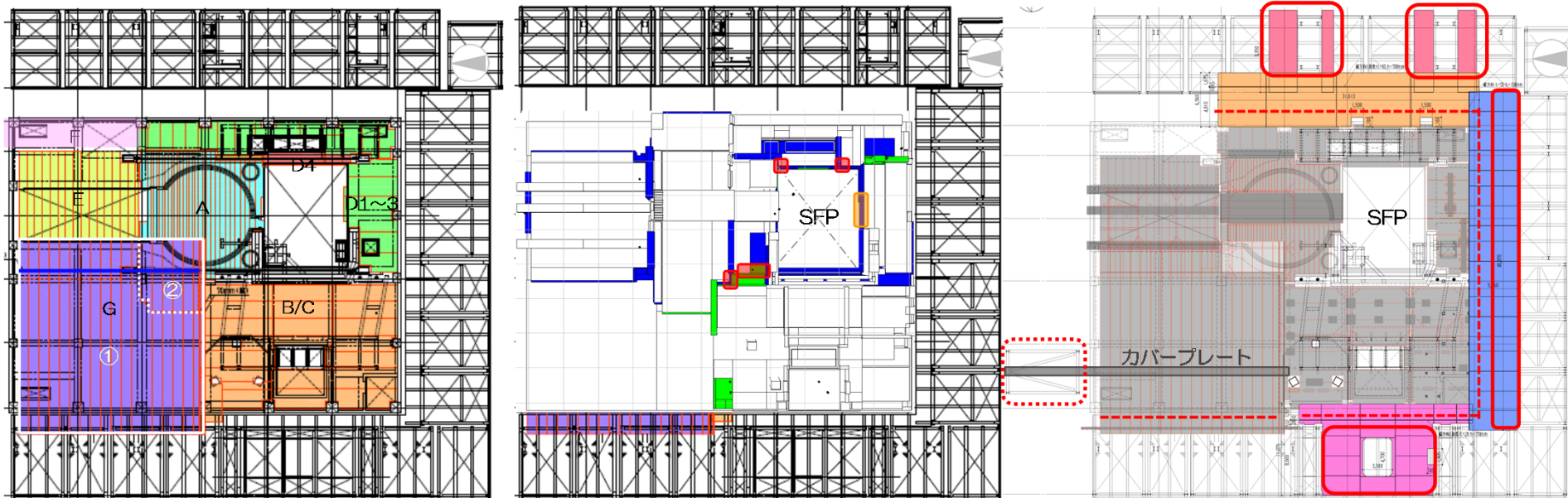
水平方向の線量寄与を確認するとともに、有人作業の作業線量を把握することも兼ねて、下図のとおり、APDを立方体容器の側面（4方位）及び上下に貼り付けてオペフロ上を測定する。

■ アウトプットイメージ

- 3号機オペフロの線量率の実測値をマップ化（線量率のコンター図、線量寄与が高い方向を示したベクトルマップの作成）
- 遮へい体設置前、遮へい体設置段階（随時）、遮へい体設置完了後に測定し、有人作業エリアの線量低減効果を評価。



【参考】遮へい体設置計画



凡例	厚さ	遮へい効果 (設計目標)
A	鉄板250mm	1/1000 以上
D1~3	鉄板200mm	1/100 以上
E	鉄板150mm <small>H26/4/7既設完了</small>	1/50 以上
D4	鉄板100mm	1/10 以上
B/C	鉄板65mm	1/6 以上
G	鉛毛マット16枚重ね ※鉛毛マット下地材：鉄板32mm ※図中①：下地材 + 鉛毛マット 図中②：下地材のみ 下地材の下に鉄板250mm敷設	①1/90 以上 ②1/1000 以上
F	鉛毛マット16枚重ね	1/90 以上
—	鉄板70mm (縦方向設置)	1/6 以上

工区毎に設計した遮へい体

大型遮へい体

凡例	材質	遮へい効果 (設計目標)
■	鉄板	1/10 以上
■	鉄板	1/100 以上

- 有人作業による設置箇所 (隙間5~20cm箇所)
材質：鉛板マット
- 有人作業による設置箇所 (チャリ着脱器上部)
材質：鉛毛マット

大型遮へい体間 (割付境界) に
生じる隙間を補完する遮へい体

補完遮へい体

凡例	厚さ	遮へい効果 (設計目標)
■	鉄板65mm	1/6 以上
■	鉄板50mm	1/8 以上
■	鉄板28mm	1/14 以上

- 有人作業箇所 (覆工板撤去)
- 有人作業箇所 (既設手摺撤去)
- 有人作業箇所 (G工区北側架構接続)

原子炉建屋と作業構台の離隔部の
オペフロFL面に掛ける遮へい体

構台間遮へい体

キャスク仮保管設備 蓋間圧力異常警報発生について

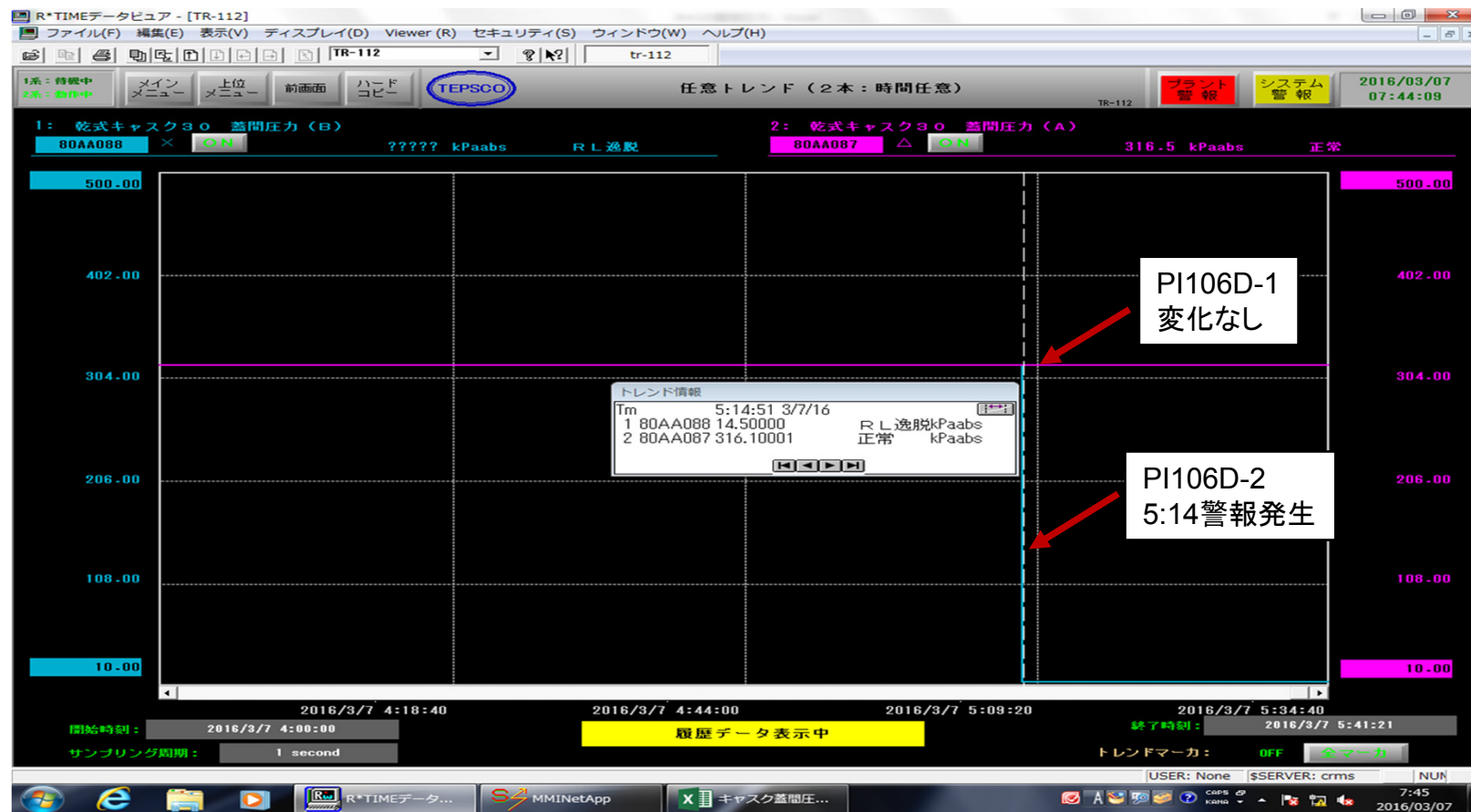
2016年3月31日

東京電力株式会社

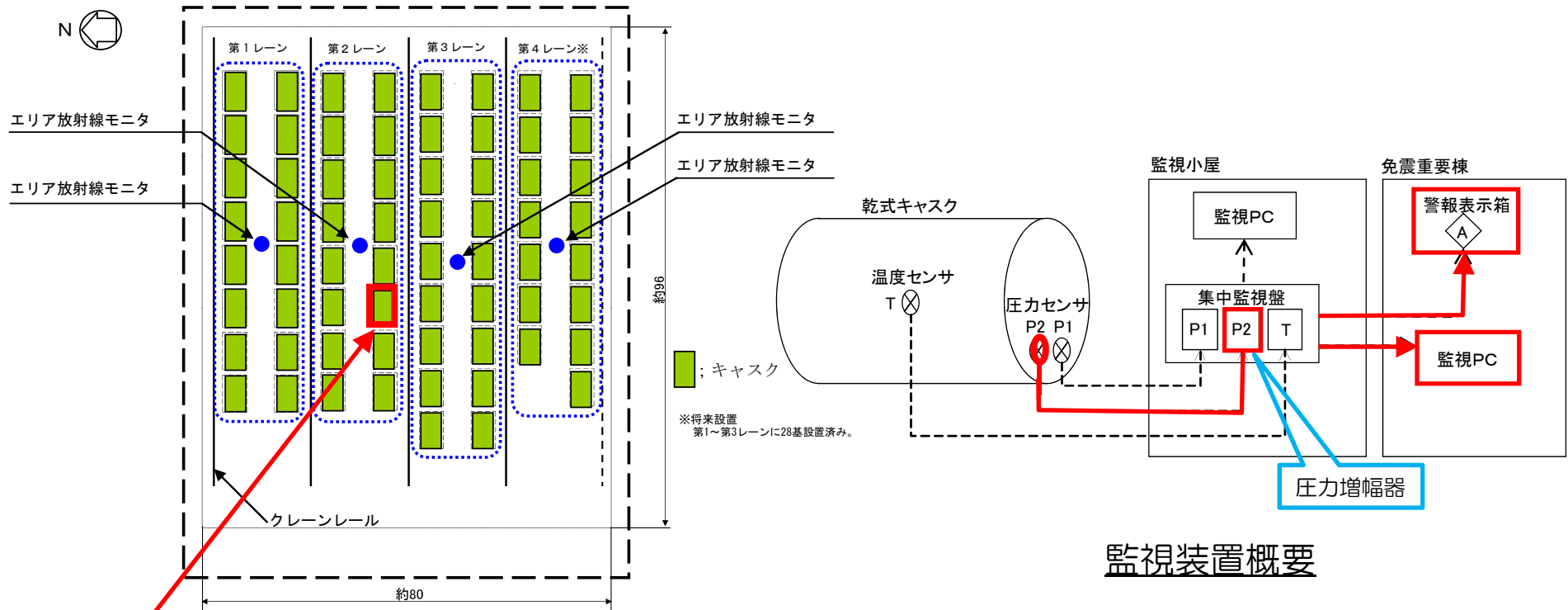
1 発生状況

■ 事象概要

- 3月7日5時14分, 乾式キャスク『蓋間圧力異常』警報発生
 - キャスク(6D) PI106D-2 : 315.0kPa→14.5kPa(警報設定値 : 250kPa)
- 6Dの蓋間圧力計は2個あり, 片系 (PI106D-2) のみ指示値が警報設定値を下回る
- もう一方 (PI106D-1) の指示値は316.1kPaで変化なし



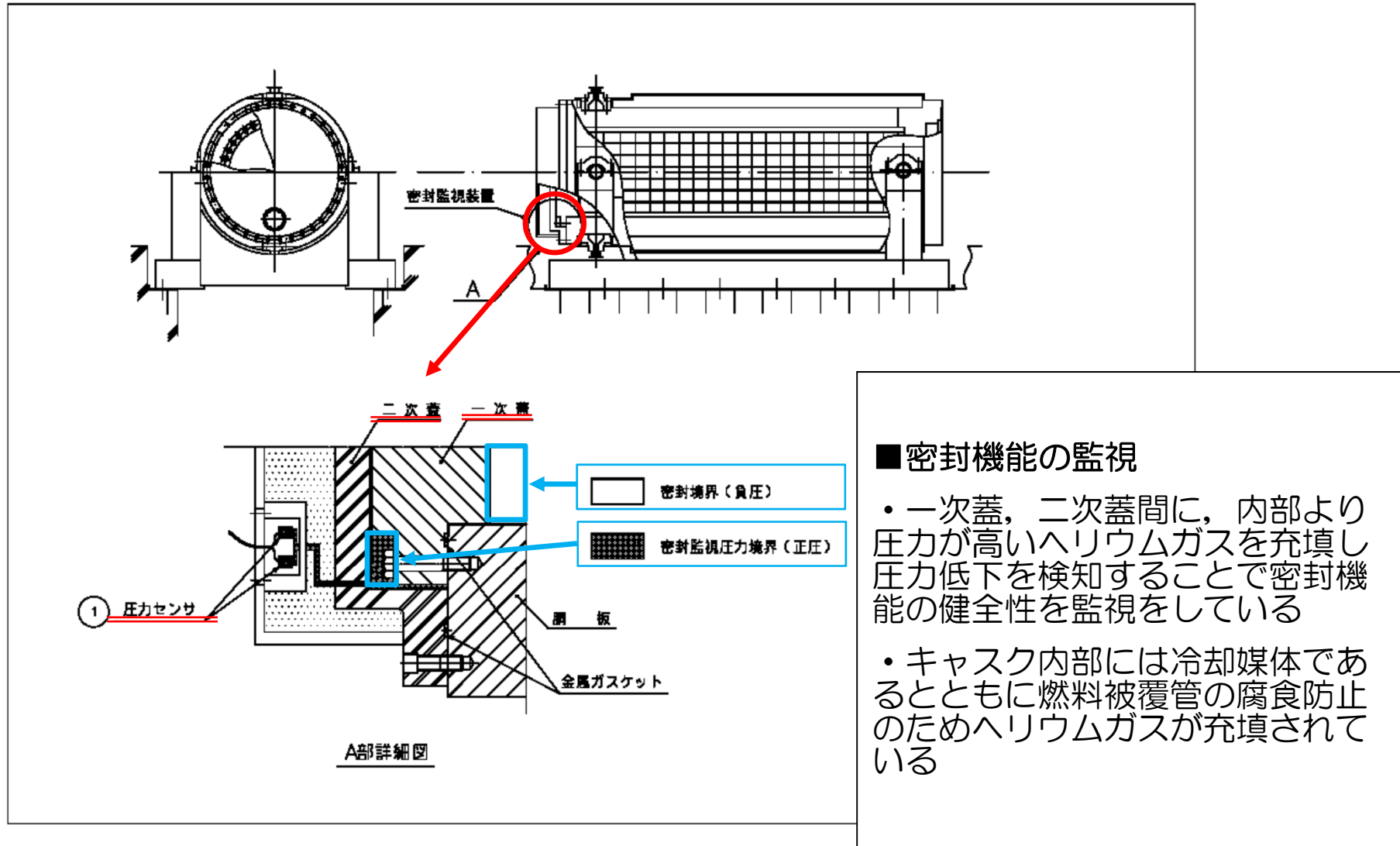
2 キャスク配置図と監視装置概要



「蓋間圧力異常」
警報発生6D

キャスク配置図

3 蓋間圧力の監視



4 状況確認結果および対応

■圧力の確認

- ・キヤスク6Dの圧力計（2個）のうち、片系のPI106D-2のみ指示変動。
- ・もう一方のPI106D-1については変動のないことを確認。
- ・現場において、簡易圧力計にて蓋間圧力を確認したところ327kPaであることを確認。

■現場配線接続状況・外観の確認

- ・現場の配線状況，端子の状況，外観に異常がないことを確認。

■圧力計測器の点検

- ・圧力増幅器への模擬入力による指示確認を実施したが，正常な指示が出なかった。

■まとめ

- ・PI106D-2圧力増幅器(PT106D-2)に異常が確認された。
- ・PI106D-1および簡易圧力計の指示値から，蓋間圧力に異常はなかった。
- ・以上より，蓋間圧力低下の事実象ではなく，PI106D-2圧力増幅器の故障と判断。

■圧力増幅器の交換

- ・平成28年3月17日圧力増幅器の交換，ループ試験を実施し指示に異常のないことを確認。
- ・『蓋間圧力異常』警報がクリアしたことを確認。

1、3号機飛散防止剤散布実績及び予定

1.定期散布

	1号機	3号機
目的	オペレーティングフロア（以下、オペフロ）上へ飛散防止剤を定期的に散布し、ダストの飛散抑制効果を保持させることを目的とする。	
頻度	1回/月	
標準散布量	1.5L/m ² 以上	
濃度	1/10	
散布範囲	<p>【凡例】 ▨：散布範囲</p> <p>約40m</p> <p>約30m</p> <p>オペフロ</p> <p>建屋カバー</p>	<p>【凡例】 ▨：散布範囲</p> <p>約45m</p> <p>約35m</p> <p>遮へい体設置エリア</p> <p>オペフロ</p> <p>洗浄ピット (水あり)</p> <p>SFP (水あり)</p> <p>開口部</p>
散布面積	1,234m ²	1,060m ²



1、3号機飛散防止剤散布実績及び予定


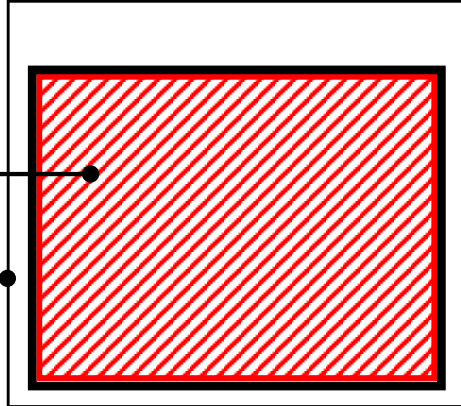

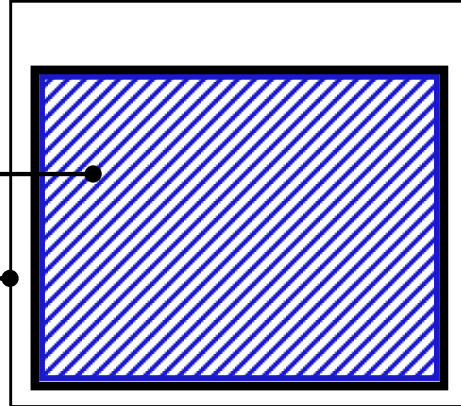

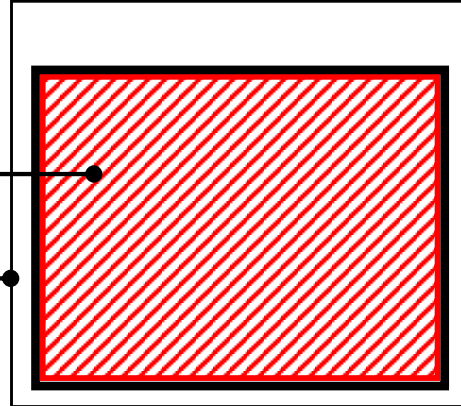

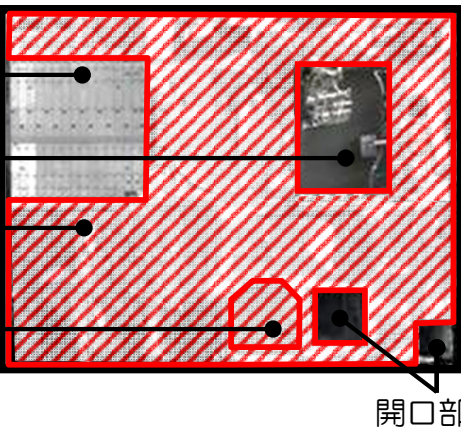

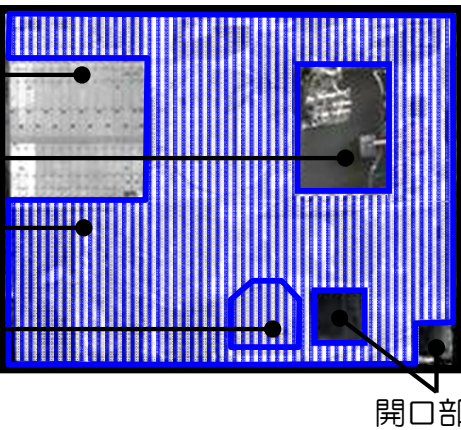

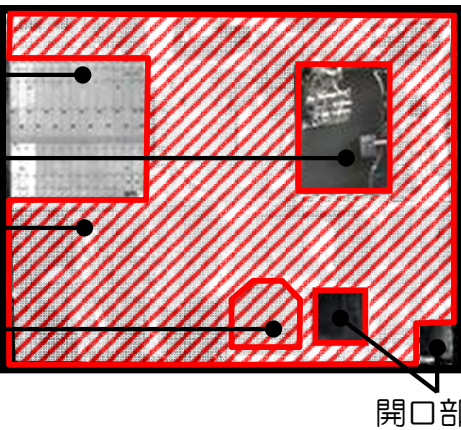
2.作業時散布

	1号機	3号機
目的	オペフロ上での（建屋カバー解体や除染等）作業に応じて、飛散防止剤を散布し、ダストの飛散を抑制することを目的とする	
標準散布量	1.5L/m ² 以上	
濃度	1/10	
散布対象作業	<ul style="list-style-type: none">• 屋根パネル外し• 支障鉄骨撤去• 壁パネル外し 等	<ul style="list-style-type: none">• 除染 等

1、3号機飛散防止剤散布実績及び予定

3.定期散布の実績及び予定

【凡例】
 : 計画散布範囲
 : 実績散布範囲

	計画 (3月)	実績 (3月)	計画 (4月)
1号機	散布日：3月17日  PN 	散布日：3月17日  PN 	散布日：4月16日  PN 
3号機	散布日：3月1日  PN 	散布日：3月2日  PN 	散布日：4月2日  PN 

1、3号機飛散防止剤散布実績及び予定

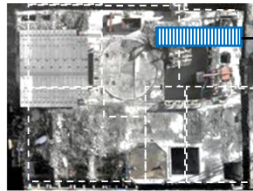
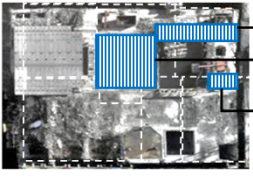
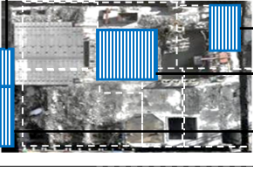
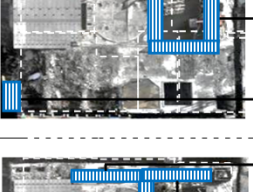


4.作業時散布の実績及び予定（1号機）

								当該週の散布範囲			
2月	日	21 (日)	22 (月)	23 (火)	24 (水)	25 (木)	26 (金)	27 (土)	-		
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-			
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-			
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-			
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.79E-4 (最大) ND (最小)	1.00E-4 (最大) ND (最小)	1.53E-4 (最大) ND (最小)	1.22E-4 (最大) ND (最小)	1.48E-4 (最大) ND (最小)	1.57E-4 (最大) ND (最小)	1.81E-4 (最大) ND (最小)			
3月	日	28 (日)	29 (月)	1 (火)	2 (水)	3 (木)	4 (金)	5 (土)	-		
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-			
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-			
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-			
		連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	8.62E-5 (最大) ND (最小)	1.95E-4 (最大) ND (最小)	1.97E-4 (最大) ND (最小)	1.62E-4 (最大) ND (最小)	1.83E-4 (最大) ND (最小)	1.43E-4 (最大) ND (最小)		2.07E-4 (最大) ND (最小)	
	日	6 (日)	7 (月)	8 (火)	9 (水)	10 (木)	11 (金)	12 (土)		-	
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-			
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-			
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-			
		連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	9.45E-5 (最大) ND (最小)	1.29E-4 (最大) ND (最小)	1.47E-4 (最大) ND (最小)	1.59E-4 (最大) ND (最小)	1.59E-4 (最大) ND (最小)	1.14E-4 (最大) ND (最小)			1.38E-4 (最大) ND (最小)
	日	13 (日)	14 (月)	15 (火)	16 (水)	17 (木)	18 (金)	19 (土)			-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-			
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-				
平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-				
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.33E-4 (最大) ND (最小)	1.34E-4 (最大) ND (最小)	1.54E-4 (最大) ND (最小)	9.71E-5 (最大) ND (最小)	1.79E-4 (最大) ND (最小)	1.26E-4 (最大) ND (最小)	1.22E-4 (最大) ND (最小)			
日	20 (日)	21 (月)	22 (火)	23 (水)	24 (木)	25 (金)	26 (土)	-			
散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-				
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-				
平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-				
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.25E-4 (最大) ND (最小)	1.54E-4 (最大) ND (最小)	1.30E-4 (最大) ND (最小)	5.83E-5 (最大) ND (最小)	1.03E-4 (最大) ND (最小)	1.30E-4 (最大) ND (最小)		1.46E-4 (最大) ND (最小)		
日	27 (日)	28 (月)	29 (火)	30 (水)	31 (木)	1 (金)	2 (土)		-		
散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-				
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-				
平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-				
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.15E-4 (最大) ND (最小)	1.13E-4 (最大) ND (最小)	1.11E-4 (最大) ND (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)			- (最大) - (最小)	

※1 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値、ND=検出限界値 (6.0E-7) 未満を示す

1、3号機飛散防止剤散布実績及び予定

4.作業時散布の実績及び予定（3号機）

								当該週の散布範囲	
2月	日	21(日)	22(月)	23(火)	24(水)	25(木)	26(金)	27(土)	 23日 ~ 24日
	散布対象作業	—	—	除染作業	除染作業	—	ダストモニターのポンプ故障発生に伴いダストの採取が出来ませんでした。	—	
	散布面積合計 (m2)	—	—	100	100	—	—	—	
	平均散布量 (L/m2・回)	—	—	前:2.5 後:2.5	前:2.5 後:2.5	—	—	—	
	連続ダストモニターの計測値 (Bq/cm3) ※1	2.75E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.54E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.55E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.66E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.96E-5 (最大) ND※3 (最小)	—	2.71E-5 (最大) ND※3 (最小)	
3月	日	28(日)	29(月)	1(火)	2(水)	3(木)	4(金)	5(土)	 29日 ~5日 1日 ~5日 1日 ~3日
	散布対象作業	—	除染作業	除染作業	除染作業	除染作業	除染作業	除染作業	
	散布面積合計 (m2)	—	100	200	100	200	200	100	
	平均散布量 (L/m2・回)	—	前:2.5 後:2.5	前:5.5 後:5.5	前:2.5 後:2.5	前:5.5 後:5.5	前:5.5 後:5.5	前:2.5 後:2.5	
	連続ダストモニターの計測値 (Bq/cm3) ※1	3.81E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.60E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.45E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.40E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.82E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.80E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.44E-5 (最大) ND※3 (最小)	
	日	6(日)	7(月)	8(火)	9(水)	10(木)	11(金)	12(土)	 12日 8日 ~10日 7日 ~8日
	散布対象作業	—	除染作業	除染作業	除染作業	除染作業	除染作業	除染作業	
	散布面積合計 (m2)	—	100	100	100	100	100	100	
	平均散布量 (L/m2・回)	—	前:2.5 後:2.5	前:2.5 後:2.5	前:2.5 後:2.5	前:2.5 後:2.5	前:2.5 後:2.5	前:2.5 後:2.5	
	連続ダストモニターの計測値 (Bq/cm3) ※1	4.21E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.62E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.87E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.74E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.90E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.62E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.86E-5 (最大) ND※3 (最小)	
	日	13(日)	14(月)	15(火)	16(水)	17(木)	18(金)	19(土)	 16日 14日, 16日, 17日
	散布対象作業	—	除染作業	—	除染作業	除染作業	—	—	
	散布面積合計 (m2)	—	100	—	100	100	—	—	
	平均散布量 (L/m2・回)	—	前:2.5 後:2.5	—	前:2.5 後:2.5	前:2.5 後:2.5	—	—	
	連続ダストモニターの計測値 (Bq/cm3) ※1	2.50E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.97E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.83E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.27E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.18E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.58E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.28E-5 (最大) ND※3 (最小)	
	日	20(日)	21(月)	22(火)	23(水)	24(木)	25(金)	26(土)	 26日 25日
	散布対象作業	—	—	—	—	—	除染作業	除染作業	
	散布面積合計 (m2)	—	—	—	—	—	100	100	
	平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	—	—	前:2.5 後:2.5	前:2.5 後:2.5	
	連続ダストモニターの計測値 (Bq/cm3) ※1	3.75E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.30E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.50E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.40E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.52E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.63E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.20E-5 (最大) ND※3 (最小)	
日	27(日)	28(月)	29(火)	30(水)	31(木)	1(金)	2(土)		
散布対象作業	—	—	—	—	—	—	—		
散布面積合計 (m2)	—	—	—	—	—	—	—		
平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	—	—	—	—		
連続ダストモニターの計測値 (Bq/cm3) ※1	3.85E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.18E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.92E-5 (最大) ND※3 (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)		

※1 平均散布量は作業前、作業後に分けて記載

※2 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値

※3 ND=検出限界値(4.8E-6)未満を示す

平成28年3月30日時点

【1号機原子炉建屋カバー解体工事】

■ 2月25日（木）～3月30日（水）主な作業実績

- ・ 資機材整備
- ・ 飛散防止剤散布
- ・ ダストサンプリング
- ・ 散水設備設置（ガレキ吸引・敷鉄板）
- ・ ガレキ状況調査

□ 今月



撮影：H28.3.25

全景(北西面)

□ 作業進捗



撮影：H28.3.22

散水設備設置（散水ノズルまでの配管設置等）状況

■ 3月31日（木）～4月27日（水）主な作業予定

- ・ 資機材整備
- ・ 飛散防止剤散布
- ・ ダストサンプリング
- ・ 散水設備設置（ノズルユニット設置）
- ・ ガレキ状況調査（調査用装置適用性の確認）

■ 備考

- ・ なし

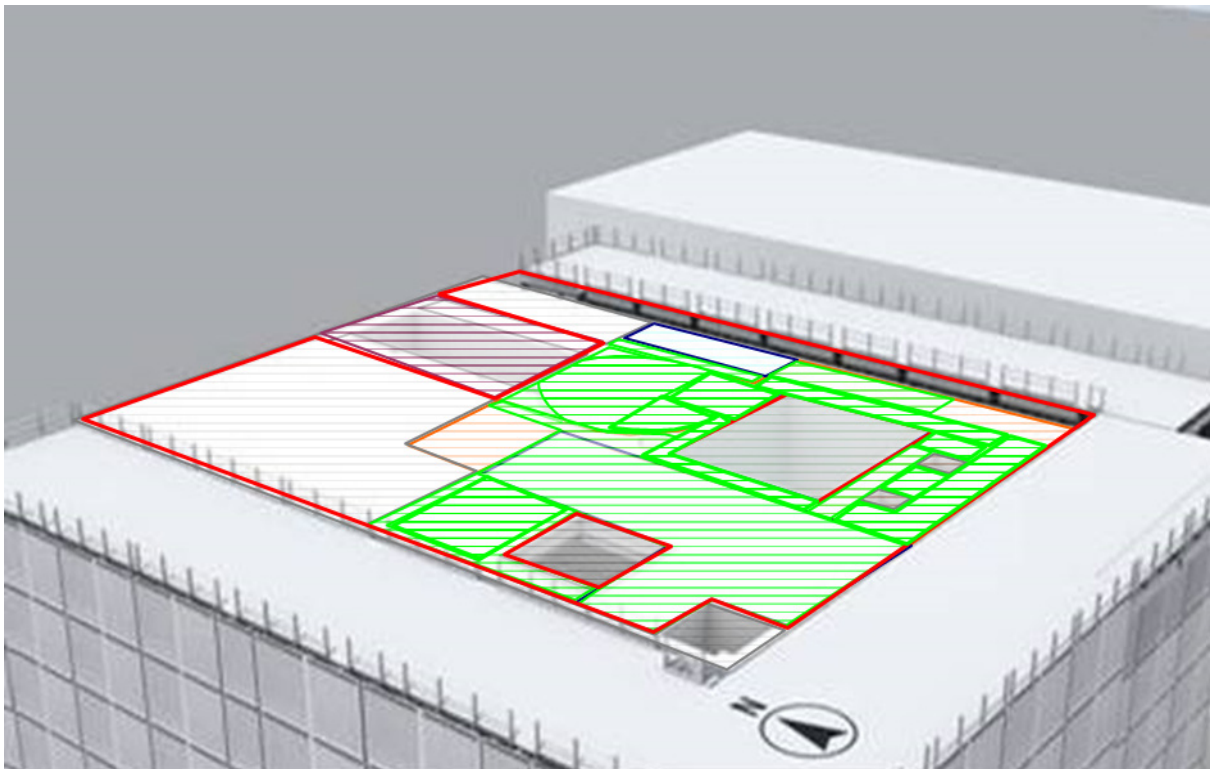
以 上

【3号機原子炉建屋上部除染・遮へい工事】

■ 2月25日（木）～3月30日（水）主な作業実績

- ・ R/B 上部除染（ガレキ集積、ガレキ吸引）
- ・ R/B 上部新燃料貯蔵庫ハッチ蓋撤去
- ・ 飛散防止剤散布
- ・ 作業ヤード整備

□ 作業進捗イメージ図



【凡例】

- 除染対象外 ガレキ集積 ガレキ吸引 床表層切削 遮へい材設置
SFP内ガレキ撤去 追加飛散防止剤散布

※除染・遮へい対策手順：ガレキ集積→ガレキ吸引→床表層切削→遮へい材設置

■ 3月31日（木）～4月27日（水）主な作業予定

- ・ R/B 上部A工区遮へい体設置
- ・ R/B 上部新燃料貯蔵庫ハッチ蓋撤去
- ・ 飛散防止剤散布
- ・ 作業ヤード整備

■ 備考

- ・ R/B：原子炉建屋
- ・ SFP：使用済燃料貯蔵プール
- ・ 飛散防止剤散布：当該月の作業進捗に合わせた追加散布（作業前、作業後）及び定期散布のエリアのみを記載

以 上

使用済燃料等の保管状況

保管場所	保管体数(体)				取出し率	(参考) H23.3.11時点	備考
	使用済燃料プール		新燃料 貯蔵庫	合計			
	新燃料	使用済燃料	新燃料				
1号機	100	292	0	392	0.0%	392	
2号機	28	587	0	615	0.0%	615	
3号機	52	514	0	566	0.0%	566	
4号機	0	0	0	0	100.0%	1,535	
5号機	168	1,374	0	1,542	0.0%	1,542	・H23.3.11時点の体数は炉内含む
6号機	198	1,456	230	1,884	0.0%	1,704	・H23.3.11時点の体数は炉内含む ・使用済燃料プール保管新燃料のうち180体は4号機新燃料
1～6号機	546	4,223	230	4,999	21.3%	6,354	

保管場所	保管体数(体)			保管率	(参考) 保管容量	備考
	新燃料	使用済燃料	合計			
キャスク仮保管設備	0	1,412	1,412	48.2%	2,930	キャスク基数28(容量:50基)
共用プール	24	6,702	6,726	98.9%	6,799	ラック取替工事实施により当初保管容量6,840体から変更

	保管体数(体)		
	新燃料	使用済燃料	合計
福島第一合計	800	12,337	13,137

